

委員長報告

特別会計

各常任委員会では、付託された令和2年度の4特別会計予算案について、慎重に審査し、その結果を委員長が本会議で報告した。

一般会計と特別会計の違いは？

一般会計とは、地方公共団体において町民サービスの提供を始めとする行政運営の基本的な経費（福祉・教育・土木など）を計上している会計。

一方で特別会計は、事業目的を限定し、特定の収入をもって特定の支出に充てるため、一般会計と区別して経理する必要がある場合に設けられる会計。当町では、令和2年度は、下水道事業、国民健康保険、介護保険、後期高齢者医療の4会計がある。

下水道事業

総務産業常任委員長 滝沢幸映

基金残高は

問 令和2年度下水道使用料の見込みは。

答 接続見込み人口を前年度より2000人増の9700人と見込んだ。

問 下水道施設移設工事負担金の内容は。

答 坂城インター先線工事で既設の下水道管路施設が沈下してしまつたため、その移設工事に伴う県の負担金である。



下水道工事（新地）

問 公営企業会計適用債の内容は。また、充当率は。

答 人口3万未満の団体は、令和6年度から法適用となり移行準備業務の起債となる。事業費に対する充当率は100%である。

問 起債残高はどのくらいか。

答 令和2年度で57億5千万円となる見込みである。

国民健康保険

社会文教常任委員長 大森茂彦

低所得者層に配慮し改定

問 国保税について、3年連続での改定だが、税率設定の考え方は。

答 県から示される標準保険料率を参考に、激変が生じないよう、町独自に国保基金を入れながら上昇率を最小限に抑えている。昨年10月の消費税率の引き上げも考慮した。全体の48・3%にあたる所得が100万円未満の世帯は、平均0・65%の引き下げとなり、所得の低い層にも配慮した。

問 町の国保税は県内の他市町村と比較して高いのか。

答 平成30年度は速報値であるが、77市町村中、高い方から43位と中位より下であり、他市町村に比べ特別高い状況とは考えていない。

問 滞納者へのペナルティーは。

答 過年度分の滞納者につ

いては、短期証交付基準により保険証の交付を本年では出さず、短期証として発行している。

問 基金残高は。

答 令和2年度では約3800万円特別会計への繰入れを予定し、基金残高は7千万円を切る見込みである。

問 特定健診等事業費として、人間ドック委託料の内容は。

答 契約医療機関に対し、日帰り1万3千円、1泊2日1万5千円を支払う。

問 特定健診の受診者数と受診率は。

答 例年の実績から、集団検診9000人、個別健診1000人、情報提供2000人を見込んでいる。今年度の受診率は未確定だが、30年度は54・2%であった。

問 保健指導の実施状況は。

答 特定健診の集団健診受診者全員には、個別で結果を返している。個別

健診等受診者には、健診結果からフォローを要する場合、訪問や来所により個別指導を行っている。

介護保険

社会文教常任委員長 大森茂彦

徘徊高齢者検索システム

問 過年度滞納者の徴収の状況は。

答 介護保険と国保の両方に滞納がある場合は、国保を優先して納付してもらっているが、介護保険料の納付も促すなかで徴収に努めている。

問 長野広域の介護認定審査会への負担金負担率は。

答 均等割が10%、件数割が90%である。件数割は平成30年度の審査件数実績から算定される。

問 居宅介護福祉用具購入費と住宅改修費は。

答 福祉用具については

50件、住宅改修は35件程度を見込んでいる。

問 審査会の内容は。

答 調査員が調査・作成した調査票及び医師の意見書をもとに、介護度を判定するための審査を行い、疑義がある場合は町に照会がくる。市町村によって判定にばらつきが生じないよう、長野広域で審査を行っている。

問 介護認定を受けている方でも状態が変われば随時再調査を受けることはできるのか。

答 申請により再度調査を行い、新たに認定を受

けることができる。

問 徘徊高齢者検索システムの内容は。

答 徘徊頻度が多い方の家族に、位置を検索できる機器を貸し出している。

問 高齢者訪問指導事業の内容は。

後期高齢者医療

社会文教常任委員長 大森茂彦

特別徴収と普通徴収

問 窓口負担が3割負担になる要件は。

答 市町村民税課税標準額が145万円以上の場合原則3割となる。

問 特別徴収と普通徴収の比率は。

答 特別徴収は68%、普通徴収は32%である。

問 国保から後期になるのと普通徴収になるのはどうしてか。

答 別の医療保険のため年金からの天引き情報を

答 事業は社協に委託しており、保健師等の専門職が高齢者のお宅を訪問し、健康指導等を行う。

問 地域支援事業を行っているグループの数は。

答 地域住民グループは、現在14グループがある。

第1回臨時会 議案審議

1月22日の臨時会では、変更契約の締結、補正予算など2件の議案を原案どおり可決した。

◆町道A01号線道路改良 ◆一般会計補正予算(第10号)

工事変更請負契約

◆一般会計補正予算(第10号)

◆町道A01号線道路改良

◆一般会計補正予算(第10号)

◆一般会計補正予算(第10号)

◆町道A01号線道路改良

◆一般会計補正予算(第10号)

◆町道A01号線道路改良

◆一般会計補正予算(第10号)

◆町道A01号線道路改良

◆一般会計補正予算(第10号)

◆町道A01号線道路改良

◆一般会計補正予算(第10号)

◆町道A01号線道路改良

◆一般会計補正予算(第10号)

◆町道A01号線道路改良

◆一般会計補正予算(第10号)

◆町道A01号線道路改良



若草橋 開通 (南条)